



公印省略

7 疾病第 4 1 7 号

令和 7 年 4 月 2 4 日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県病院協会長
一般社団法人福岡県私設病院協会長
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長
一般社団法人福岡県精神科病院協会長

殿

福岡県保健医療介護部長
(がん感染症疾病対策課感染症対策係)

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱を含むダニ媒介感染症については、発生する地域の広がりとともに継続して患者の発生が報告されています。

SFTS については、平成 25 年 1 月に国内で海外渡航歴のない方が罹患していたことが初めて報告されて以降、西日本からの報告が相次いでおり、県内でも平成 27 年 5 月 19 日に、SFTS の患者が初めて確認されて以降、毎年発生しています。本県では、令和 7 年 3 月末までに 32 例の報告があり、うち 8 例の死亡が確認されているところです。

また、令和 6 年 3 月、国内で初めてとなる SFTS ウイルスのヒトーヒト感染（患者から医療従事者への感染）事例が確認されたところです。

マダニの多くは春から秋にかけて活動が活発になり、シカやイノシシなどの野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、特に屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業（山菜採りや狩猟等）は、ダニに咬まれるリスクが高まります

つきましては、貴会会員に対し、SFTS 患者の診療における感染対策の徹底について周知をお願いいたします。

また、今後マダニの活動が活発化する季節になるため、貴会会員に対し、別添リーフレット等を用いた来院者に対するマダニ対策の啓発について依頼をお願いいたします。